

厚生労働省 令和8年度補助事業

介護のしごとと 魅力発信等事業

企画提案書

朝日新聞社

2026年3月13日



1.

事業の基本的な考え方

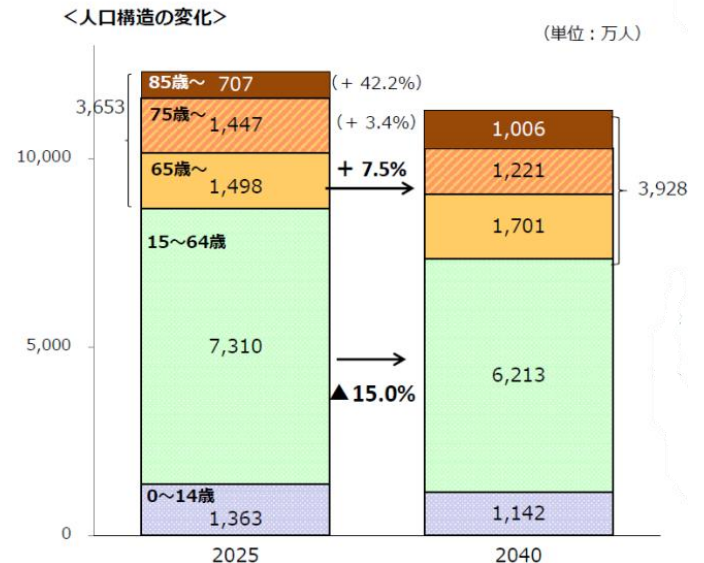
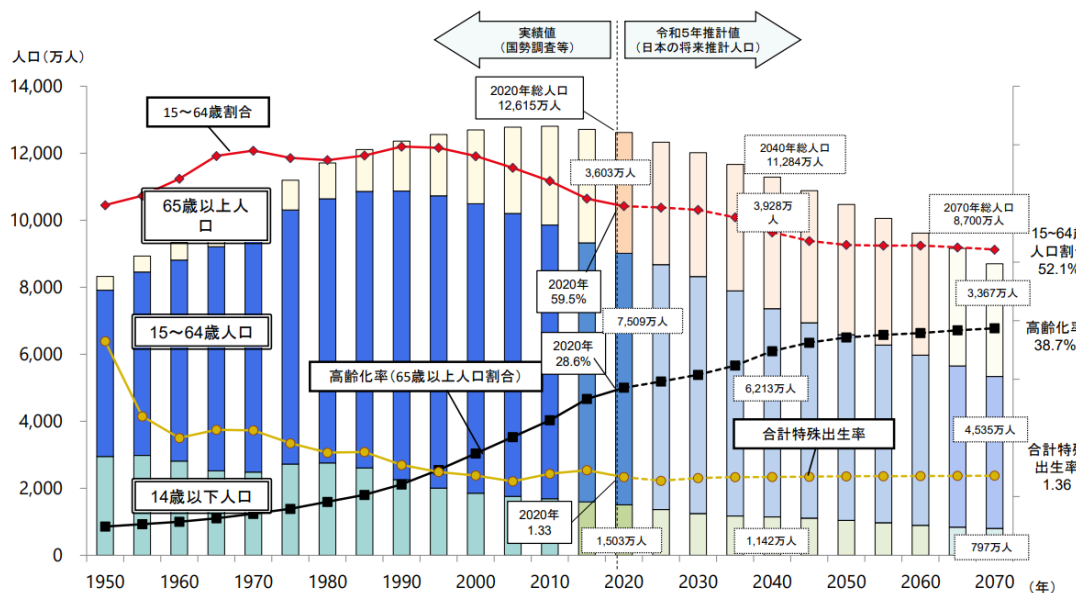


事業の基本的な考え方

日本の人口は減少局面にあり、2070年には総人口が9,000万人を下回ると推計されています。 少子高齢化が進む中で、この人口減少は避けられない現象と見なされています。 さらに総務省が公表した「日本の将来推計人口 令和5年推計」によると、2040年には65歳以上の高齢者が人口全体の約35%を占める見通しです。 これにより2040年には約3人に1人が65歳以上となり、社会のあらゆる分野に大きな影響を及ぼすことが予測されます。 特に医療・介護の特に、医療や介護の分野では、高齢者の増加に伴い、サービスの需要が急増することが考えられます。

高齢者が安心して自分らしい暮らしを続けられる社会を築くには、介護に関わる人材を増やすとともに、地域全体で支える体制を強化することが重要です。

このように日本の人口動態は今後大きな変化を迎える見通しで、高齢化社会に対応するためのさまざまな対策が求められています。 高齢者が介護を必要とする場合でも、慣れ親しんだ地域や住まいで自立した生活を送れるよう、質の高い介護・福祉サービスを確保・充実させる必要があります。 その実現には、国・自治体・民間企業・地域コミュニティが一体となって協力し、連携を深めることが不可欠です。



(出典) 総務省「国勢調査」「人口推計」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口 令和5年推計」

(出所) 2020年までの人口は総務省「国勢調査」、合計特殊出生率は厚生労働省「人口動態統計」、2025年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(令和5年推計)」(出生中位(死亡中位)推計)

事業の基本的な考え方

要介護認定を受けている高齢者の数は年々増加しており、厚生労働省が25年に公表した2023年度「介護保険事業状況報告（年報）」で、要介護・要支援の認定者数が初めて700万人を突破しました。認定者数は708万人で前年度（694万人）から14万人（2.0%）増え、過去最多を更新しました。65歳以上の高齢者に占める認定者の割合も19.4%に達し、前年度の19.0%から0.4ポイント上昇して過去最高となりました。要因は高齢化の進展で、とりわけ認定を受けやすい75歳以上の高齢者が増加したことが大きく、この増加傾向は今後も続くと予想されており、高齢者の人口が増加する中で、介護サービスの需要もますます高まっています。

その一方で、社会全体の家族構成にも大きな変化が見られ、核家族化により、共働き世帯や子育て世帯が増え、家族が高齢者の介護に時間を割くことが困難になっています。また、単身世帯の増加により、高齢者が独り暮らしをするケースも増えており、家族のサポートが得られない状況が多くなっています。

これらの状況を踏まえ、介護のしごとに関わる人材確保は喫緊の課題であり、社会全体での支援と協力が必要です。第9期介護保険事業計画の介護サービス見込み量等に基づき、都道府県が推計した介護職員の必要数を集計すると、**2026年度年には約240万人、2040年までに約272万人の介護職員が必要**です。

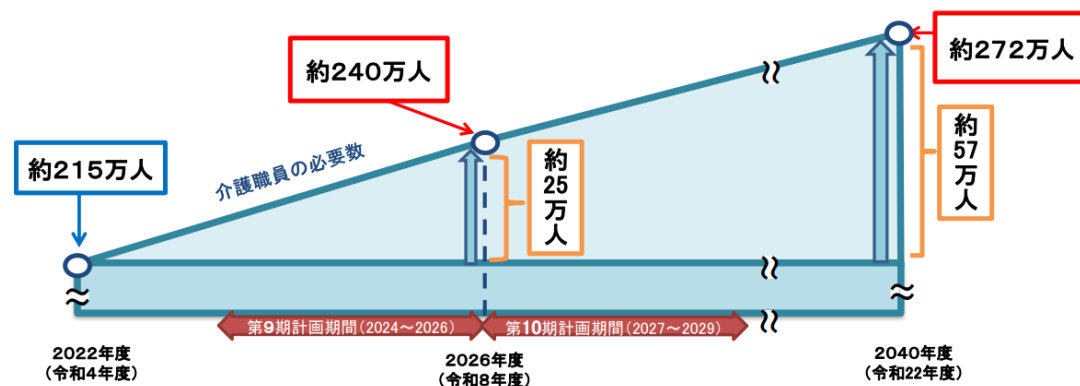
生産年齢人口が急速に減少する見込みの中、多様な人材の確保と育成、介護職の魅力向上、離職防止・定着促進などの人材確保対策が重要な社会課題となっています。

将来の介護職員の必要数（見込）

2026年度には
約**240**万人（+約25万人）

2040年度には
約**272**万人（+約57万人）

出典）厚生労働省の資料をもとに作成
介護職員の必要数については、足下の介護職員数を約211万人として、市町村により第9期介護保険事業計画に位置付けられたサービス見込み量（総合事業を含む）等に基づく都道府県による推計値を集計したものです。



事業の基本的な考え方

本事業では、総合的な介護人材確保対策（主な取組）のうち、④介護職の魅力向上に係る取り組みとして、学生や保護者、教職員、介護のしごとを職業に選択する可能性が高いミドル～プレシニア層に向けて当社リソースを活用しながら発信しています。

総合的な介護人材確保対策（主な取組）

①介護職員の 処遇改善	<ul style="list-style-type: none">○ 介護人材の確保のため、これまでに累次の処遇改善を実施。介護職員処遇改善加算、介護職員等特定処遇改善加算、介護職員等ベースアップ等支援加算の創設・拡充に加え、介護職員の収入を2%程度(月額平均6,000円相当)引き上げるための措置を、2024年2月から5月まで実施。	<ul style="list-style-type: none">○ 令和6年度報酬改定では、以下の改正を実施。<ul style="list-style-type: none">・ 介護職員の処遇改善のための措置をできるだけ多くの事業所に活用されるよう推進する観点から、3種類の加算を一本化。・ 介護現場で働く方々にとって、令和6年度に2.5%、令和7年度に2.0%のベースアップへと確実につながるよう、加算率を引き上げ。
②多様な人材の 確保・育成	<ul style="list-style-type: none">○ 介護福祉士修学資金貸付、実務者研修受講資金貸付、介護・障害福祉分野就職支援金貸付、再就職準備金貸付による支援○ 中高年齢者等の介護未経験者に対する入門的研修の実施から、研修受講後の体験支援、マッチングまでを一体的に支援	<ul style="list-style-type: none">○ 多様な人材層の参入促進、介護助手等の普及促進○ キャリアアップのための研修受講負担軽減や代替職員の確保支援○ 福祉系高校に通う学生に対する返済免除付きの修学資金の貸付を実施
③離職防止 定着促進 生産性向上	<ul style="list-style-type: none">○ 介護ロボット・ICT等テクノロジーの導入・活用の推進○ 令和6年度介護報酬改定による生産性向上に係る取組の推進(介護報酬上の評価の新設等)○ 介護施設・事業所内の保育施設の設置・運営の支援	<ul style="list-style-type: none">○ 生産性向上ガイドラインの普及、生産性向上の取組に関する相談を総合的・横断的に取り扱うワンストップ相談窓口の設置○ 悩み相談窓口の設置、若手職員の交流推進○ オンライン研修の導入支援、週休3日制、介護助手としての就労や副業・兼業等の多様な働き方を実践するモデル事業の実施
④介護職の 魅力向上	<ul style="list-style-type: none">○ 学生やその保護者、進路指導担当者等への介護の仕事の理解促進	<ul style="list-style-type: none">○ 民間事業者によるイベント、テレビ、SNSを活かした取組等を通じて全国に向けた発信を行い、介護の仕事の社会的評価の向上を図るとともに、各地域の就職相談のできる場所や活用できる支援施策等の周知を実施
⑤外国人材の 受入れ環境整備	<ul style="list-style-type: none">○ 介護福祉士を目指す留学生等の支援(介護福祉士修学資金の貸付推進、日常生活面での相談支援等)○ 介護福祉士国家試験に向けた学習支援(多言語の学習教材の周知、国家試験対策講座の開催)	<ul style="list-style-type: none">○ 海外12カ国、日本国内で特定技能「介護技能評価試験」等の実施○ 海外向けオンラインセミナー等を通じた日本の介護についてのPR○ 働きやすい職場環境の構築支援(国家資格の取得支援やメンタルヘルスのケアのための経費助成、eラーニングシステム等の支援ツールの導入費用の助成、介護の日本語学習支援、巡回訪問等)

ターゲットの設定

ターゲット設定

- 以上のことから、本事業のメインターゲットを「こども層」、「保護者・教職員（ミドル層）」、サブターゲットに「子育てが一段落した層から現役世代（ミドル～プレシニア層）」に設定いたします。
- ターゲットに合わせた施策で、効果的な情報発信を行います。

メインターゲット



こども層 (小中高生)

- 「ケアのこころ」を育てる
- 小中高生のなりたい職業に

介護に触れる機会の少ない小学生から、まだ進路が定まっていない10代学生に向けて教育現場との連携を図る。様々な切り口で介護・福祉を知ってもらうことから、「ケアのこころ」「助け合いのこころ」を育てることで将来のなりたい職業の選択肢として関心を持ってもらう。

メインターゲット



保護者・教職員

- 子どもや生徒を応援できる
- 自らもキャリアチャレンジ

子どもを教育する立場にある保護者、教職員に向けて、福祉・介護を生徒と一緒に学ぶ機会を作り、子どもや生徒たちの進路選択の応援意向を向上させる。同時に、即戦力となり得るミドル層として、自らのキャリアチャレンジも促す。

サブターゲット



40代～60代 (ミドル・プレシニア層)

- スキルや経験を活かす
- 柔軟な働き方

スキルや経験を生かせ能力を発揮でき、多様な働き方として、家庭や子育てとの両立にも柔軟に対応しやすい環境、キャリア形成、長くできる仕事という視点で介護の仕事という選択肢を提供する。

2.

事業内容及び手法



これからのKAIGO



はっけん！ケアのこころ ケアのしごと



「これからのKAIGO ～はっけん！ケアのこころ ケアのしごと～」

これまで掲げている「これからのKAIGO はっけん！ケアのこころ ケアのしごと」を、メインターゲットである子ども層、保護者・教職員に向けて、コンセプトとしていきます。

これからの介護業界を担う、小中高生が、介護のしごとに主体的に接する機会を通じて、ケアの種を撒き、介護のしごとの魅力を『発見する』。本事業の主旨・ゴールを端的に表しており、このプロジェクト名の下、子ども、保護者、教職員、ミドル～プレシニア層に対して、事業を推進いたします。



プロジェクト
コンセプト

これからのKAIGO ～はっけん！ ケアのところ ケアのしごと～

企画委員会

学識経験者・職能団体、介護事業者・実践者、有識者で構成する企画委員会を設置。年3回会議を実施し、効果的な広報と正しい情報発信に努めます。



既存ポータルサイト

「これからのKAIGO」を引き続き活用

パソコン用／スマートフォン用それぞれに対応した、情報発信の拠点として引き続き活用し、スピード感をもって対応します

https://www.asahi.com/ads/korekarano_kaigo/



1

“介護のプロ”による全国の小中高での出張授業



事業間連携

2

2040年のサバイバル —介護の未来編—の活用

科学漫画
サバイバル



自治体活用可能

3

技能五輪全国大会を密着取材！ YouTubexSNS拡散施策



事業間連携



自治体活用可能

4

大規模教育イベントを活用した 教職員向けのアプローチ



未来の先生
フォーラム

朝日新聞社の教員向けサイト

先生コネクト

事業間連携



5

ミドル・プレシニア層向けウェビナー リーフレットの制作・活用



事業間連携

自治体活用可能



6

ポータルサイトのリニューアル 事業間連携・コンテンツ発信



事業間連携

自治体活用可能

具体的な手法

1. 小中高生向けの出張授業

「ケアするところ」を育む授業

令和7年度に開催した出張授業では、全国の多くの学校から応募をいただきました。そこで、令和8年度も出張授業を実施し「ケアするところ」を育む活動をしたいと考えます。弊社グループ会社における教育機関とのつながり・授業実施のノウハウを活用し、全国の小学校・中学校・高校合計10か所程度で出張授業を開催します。各地域の介護事業者の方や、**本事業（介護職発信事業）で採択された社会福祉法人等の事業者、全国福祉高等学校長改とも連携し、生徒の関心が高い分野（例：ICT・介護ロボット）などの活用事例も取り入れた、介護のしごとの魅力について伝える授業いたします。**

開催時期	2026年10月～2026年1月（予定）
実施回数	全国10か所（予定） 小学校5か所、中学校3か所、高校2か所（予定）
実施方法	各学校の総合学習等で実施
授業内容	それぞれの世代に合ったテーマ、伝え方で講師の方々と相談の上、進めて参ります。
講師	介護職発信事業の採択団体、職能団体関係者、全国福祉高等学校長会による福祉系高校生などを予定



介護職発信事業で採択された団体や職能団体、全国高校生福祉校長会等の関係団体と積極的に連携を図っていきます。

ポイント

出張授業では授業の様子を撮影し、学校側に提供。学校内や保護者への共有を促します

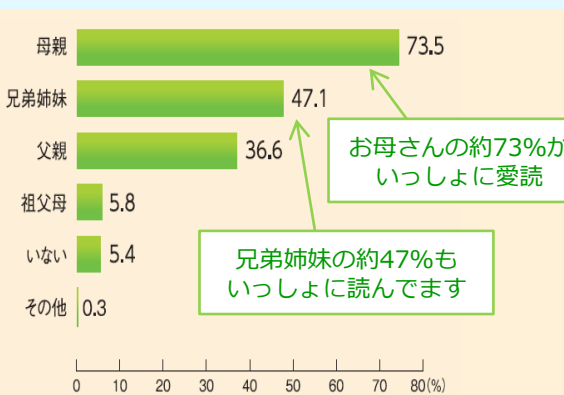
1. 小中高生向けの出張授業

出張授業は朝日小学生新聞、中高生新聞を使って広く募集し参加校を募ります。また、授業の様子は後日、小学生新聞、中高生新聞に採録し、全国に発信いたします。子どもだけではなく教職員にも読まれるため、出張授業の広がりや介護職を目指す学生の選択を教職員が応援したくなること、子育てが一段落した保護者自身も介護に関心を持つような紙面を作成いたします。

朝日小学生新聞

1967年に健全な青少年育成のため創刊された、日本で唯一のブランケット判小学生新聞です。朝日新聞販売店から毎日ご家庭にお届けしています。

掲載概要 (予定)	媒体	朝日小学生新聞
	体裁	告知 5段カラー／モノクロ 採録15段カラー
	時期	告知 2026年7月頃～採録 2026年2月頃
	部数	90,405部 ※2024年1月時点



ポイント
ミドル層（子育てが一段落した層）にも届く！

30歳～35歳未満	1.2%
35歳～40歳未満	11.7%
40歳～45歳未満	35.0%
45歳～50歳未満	31.3%
50歳以上	20.7%

保護者は30代半ば～40代。50代も2割

1. 小中高生向けの出張授業



出張授業「共生社会」

高齢者施設などでの勤務経験が豊富な専門家と、介護・福祉について学ぶ出張授業が行われました。参加した生徒は現場であった出来事、利用者とのふれあい、仕事への思いなどを聞き、介護・福祉への理解を深め、グループワークで共生社会について話し合いました。

助け合い、
支え合いで
豊かな社会を
つくる

介護ってどんな仕事？

「介護の仕事は、高齢者や障害のある方への生活支援やケアを行うことです。例えば、食事の介助や入浴のサポート、会話の相手などがあります。また、利用者さんの生活の質を向上させることも重要な役割です。」

「介護の仕事は、単に業務を行うだけでなく、利用者さんとの信頼関係を築くことが大切です。時には大変な場面もありますが、利用者さんの笑顔や成長を感じることが大きなやりがいになります。」

介護の仕事の魅力

「介護の仕事は、人の役に立つという大きなやりがいがあります。また、高齢者や障害のある方と接することで、自分自身の成長や学びも得られます。」

「介護の仕事は、チームで働くことが多く、仲間と協力して業務を進めることができます。また、利用者さんとのふれあいやコミュニケーションが、仕事の楽しさや意義を生み出します。」

神奈川県 藤沢市立第一中学校

中学2年生231名が参加

講師/吉岡 俊昭さん
トヨタレックス区南西看護専門学校 介護福祉学科 学科長



老人ホーム勤務時代の数々のエピソードを紹介しながら吉岡さんは言いました。「私は、おばあちゃんの手が動かなくなったから『僕の手を使えばいいよ』、おじいちゃんが認知症になったら『過去の話は全部自分が覚えておくから大丈夫』、だから一緒に生きていこう、って言うんです。介護福祉士は、利用者がその人らしく生きていくために全力で支え一緒に生きていく仕事。そういうカッコいい仕事があるってことを知ってもらえたら嬉しいです」

兵庫県 姫路市立夢前中学校

中学1年生163名が参加

講師/瀬永 啓太さん
株式会社HAND IN HAND 主任ケアマネージャー



瀬永さんは自分の仕事を、介護が必要な人を「筑う応援者」と定義しました。「私は、利用者さんのお正月に伊勢エビのお刺身が食べたという希望をかなえるため奔走しました。認知症の方の『人の役に立ちたい』という要望も、働く場を提供することで実現したエピソードなどを披露、「介護の仕事は、目の前の方の幸せを考えてサポートすること。その方の人生の最期までそれを追求する『幸せを創造するクリエイター』なんです。」と語りました。

香川県 香川県立高松南高等学校

高校1年生(福祉科)30名が参加

講師/空野 太陽さん
社会福祉法人吉祥 デイサービスセンター 主任



福祉を学んでいる生徒からグループワークで「介護福祉の仕事をしている高の話を聞いて介護福祉士になりたいと思った」「私が発達障害で障害者福祉に興味がある」という声がありました。それを受けて空野さんは「介護福祉士は利用者と一緒に働くことで、その人らしさを考え、今日よりも明日、明日よりも明日よりもより良いものにしていくことが求められます。何年後かに、皆さんを介護の現場に迎えることを楽しみにしています」と呼びかけました。

朝日中高生新聞

Asahi Student Newspaper

中高生やネットで注目されている話題、記者が見つけたネタなどニュース以外にも職業や大学を取り上げ、読者のキャリアに役立つ情報も掲載

掲載概要 (予定)	媒体	朝日中高生新聞 タブロイド版
	体裁	告知 5段カラー/モノクロ 採録15段カラー
	時期	告知 2026年7月頃～採録 2027年2月頃
	部数	47,962部 ※2022年1月時点

ポイント

ミドル層（子育てが一段落した層）にも届く！

■読者以外の家庭内読者

母親	61.4
兄弟姉妹	43.3
父親	19.1
祖父母	3.7
その他	1.9

■興味のあること(複数回答可)

読書	63.3
テレビ	46.5
映画・DVD鑑賞	44.7
まんが	41.4
音楽鑑賞	40.0
スポーツ	36.7
ゲーム	34.9
パソコン・インターネット	34.0
ファッション	32.6
英語	32.6
楽器演奏	32.1
科学・実験	17.7
その他	6.5

■大学進学希望について

国公立大学	71.4
私立大学	23.2
専門学校	1.8
内部進学(予定)	1.8
検討中	17.9
その他	1.8

主催：朝日中高生新聞 朝日小学生新聞 本プロジェクトは令和5年度介護のしくみと能力開発等事業(情報発信事業)として実施しています。(実施主体：朝日新聞社・厚生労働省補助事業)

2.2040年のサバイバル –介護の未来編– の活用

2040年のサバイバル –介護の未来編– より一部抜粋



令和7年度に制作して好評の「2040年のサバイバル–介護の未来編–」を活用し、教育現場で介護のしごとを浸透させていきます。

科学漫画「サバイバルシリーズ」は生徒のみならず先生、保護者からの人気非常高的コンテンツです

- 令和7年度事業で制作したワークシート「2040年のサバイバル–介護の未来編–」には、たくさんの学校から応募をいただき、全国の小学校に1万部配布しました。
- 好評にお応えするためサバイバルのIP活用期限を延長し増刷（最大1万部）。出張授業で応募いただいた学校や落選校、要望のある自治体、他の事業者イベントでも配布します。（2026年9月までに配布完了）
- 弊社事業ポータルサイトでも掲載期限を延長し、閲覧できるようにいたします。（期間は2026年9月末まで）



3. 中高生向けアプローチ 「技能五輪全国大会」YouTube×SNS動画拡散

過去3年実施した部活応援メディア「ブカピ」を活用した福祉を学ぶ高校生密着動画では、全国高校生介護コンテストを2回、技能五輪全国大会「介護エキシビジョン」に一生懸命向き合う高校生を取材しました。地区大会や選考会から密着し、「人を支える」という介護のしごとの素晴らしさや大会からたくさんの学びを得た高校生の姿を伝えることで、若年層・無関心層に向けて介護について触れるきっかけをつくり、企画委員や職能団体の方々から高評価をいただきました。



今回も話題の一つでもある第64回技能五輪全国大会で正式種目となる「介護」職種に出場する、福祉系の高校生に密着します。高校生の密着を通して、**技能五輪全体にもフォーカスし、介護のしごとを積極的に発信することで、職業教育・技能の価値や若年層の就業先としての魅力を高めます。**

選考会の様子から普段の学校生活、大会に向けた練習風景、夢に向かって大きく成長する高校生の姿を追うことで、**介護のしごとへのイメージアップをはかり、若年層への認知拡大、保護者の応援意向アップにつなげます。**

3. 中高生向けアプローチ 「技能五輪全国大会」 YouTube×SNS動画拡散



ポイント

ターゲットを以下に設定
同世代の中高生／その保護者世代（40代～50代）

1 動画制作



- 技能五輪全国大会の「介護」職種に出場する福祉科の高校の選考会を取材。
- 出場する高校生の普段の生活や大会に向けた練習風景も取材。友達の支え、大会にかける思いなど。
- 大会で何を学んだか、自分がこれからどのような目標を持ったか、高校生の意識の変化や成長を描くことで、福祉や介護に関心のない生徒にも視聴を誘引します。



2 動画拡散

① 「ブカピ」 YouTubeチャンネル

チャンネル登録者数：22.1万人

再生回数：10万回想定

② SNS・ショート動画

imp数：200万imp想定

③ ターゲットは中高生と保護者世代



3. 中高生向けアプローチ 「技能五輪全国大会」YouTube×SNS動画拡散

「技能五輪全国大会」出場高校生への密着動画

第63回「技能五輪全国大会」で「介護」職種がエキシビジョンとして実施され、今年の第64回では正式種目となる予定です。そこで、正式種目になる本大会に出場するための選考会から密着取材をし、大会でレベルの高い技術を目の当たりにし、どんな学び・成長につながったか、その体験を語っていただきます。

高校生たちが成長し、生き生きと輝く姿をとらえ、中高生が「憧れ」を抱くような動画に仕上げます。

選考会の様子取材

- 大会出場を目指し、選考会に挑む高校生たちの様子取材。
- 選考会を経てどの生徒が出場権をつかむのか、当日に密着します。



練習の様子や学校生活

- 出場が決まった高校生の練習風景や、普段の高校生活にも密着し、大会にかける思いや将来の夢に向かう姿を追います。



技能五輪全国大会本番

- 技能五輪全国大会の様態取材
- 大会に出場し何を学び、将来自分はどうなりたいか、夢や目標やを語ってもらい、意識の変化を伝える。



3. 中高生向けアプローチ「技能五輪全国大会」YouTube×SNS動画拡散

ブカピとは・・・

学校の部活はもちろん、サークル、趣味、サブカルなどを「部活」とくくり、一生懸命に取り組む人たちを応援するプロジェクトです。ABCテレビと朝日新聞社が運営。高校生を中心とした層にリーチできることが特徴で、最近は小中学生や保護者からの認知度もあがっています。

ブカピが持つメディア YouTubeチャンネルを軸に、SNSなどクロスメディアにコンテンツを展開

YouTube

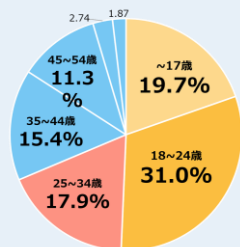


チャンネル登録者数 **20.3万人**
総再生数**1億回以上**

インフルエンサー等の起用



SNS



- ブカピ視聴者は大きく**現役部活生、保護者・学校関係者**
- 24歳以下の視聴者が**50%**
- ABCテレビは**主要時間帯視聴率No.1!**

「M-1グランプリ」や「芸能人格付けチェック」など大人気の番組を制作しており、視聴者の心を掴むクオリティの動画制作が期待できます。

※ABCテレビの制作番組



ブカピYouTube



4. 教職員向けイベントの開催

教職員に向けたイベントの開催

就職・進学を選択においては、教員による助言や後押しが非常に重要な役割を果たします。そこで本事業では、教職員を対象に「介護のしごとへの理解を深める」イベントを開催します。本イベントでは、介護職の魅力ややりがい、キャリア形成の可能性について伝えるとともに、介護のしごとを多角的な視点から理解していただくことを目的としています。セミナーや体験なども交えた参加型にすることで、教職員の介護に対する理解を深め、生徒の介護・福祉分野への進路選択を後押しできる教員の増加を目指します。

「未来の先生フォーラム」への出展



「未来の先生フォーラム」は、社会の動向を理解し、自ら学び専門性を向上させたいと願う先生たちをはじめ、**教育業界の関係者が来場する日本最大級の教育イベント**。2017年から年に一度開催されています。子どもの進路選択におけるキーパーソンである教員に対して、介護のしごとへの理解を深めてもらうことで、介護・福祉分野を志望する生徒への後押しにつなげます。



**教職員に向け介護のしごとの理解を深め、
学生参入を促進しやすい土壌をあらゆる視点から作ります**

4.教職員向けイベントの開催

全国最大級の教職員イベントへの出展

教職員や教育関係者が集まる日本最大級のイベントで、「介護への理解を深める」をテーマにしたセミナー&ブース出展を実施。

教職員へ介護のしごとや業界についての理解を深め、学生への指導や進路選択の参考になるような機会を創出します。

掲載概要（予定）

名称	「未来の先生フォーラム2026リアル」
会期	2026年9月12日(土)、13日(日) 10:00-17:30 ※開催予定
実施場所	桜美林大学新宿キャンパス 東京都新宿区百人町3丁目23-1番
主催	未来の先生フォーラム2026実行委員会
共催	朝日新聞社
想定参加申込者数	2,800名 程度 ※2日間述べ人数

参加費（予定）

【教職員と学生】無料 【一般】有料

- 2025年度後援実績**
- 省庁 文部科学省、経済産業省、総務省
 - 教育委員会 各都道府県



構成内容（予定）

テーマ	「生徒に伝えたい介護・福祉の大切さ」（仮）
セミナー	セミナー+介護のしごと体験
	・セミナー講師案 吉岡 俊昭 氏 日本介護福祉士会 常任理事/ トリニティカレッジ広島医療福祉専門学校 介護福祉学科 学科長 真田 龍一 氏 全国福祉高等学校長会 事務局長
体験協力（案）	一般社団法人KAiGO PRiDE、 NPO法人未来をつくるkaigoカフェ など
内容	次ページご参照

4. 教職員向けイベントの開催

「未来の先生フォーラム」でのプログラム案

■ 授業の目的「なぜ今、教育現場で介護のしごとへの理解が必要か」

- ① 高齢社会の理解: 2025年問題などを背景に、誰もが地域で支え合う「地域包括ケアシステム」の理解。
- ② 心のバリアフリー: 高齢者や障がい者への理解を深め、自分事として捉える（介護等体験の目的）。
- ③ 職業観の育成: **先生たちが介護のしごとをよく知らないことによる、ネガティブイメージからの脱却**、人の役に立ち、感謝される「プロフェッショナルな仕事」であることを伝え、生徒の職業選択の応援意向を促進。

■ 構成案

教室を貸し切って行うセミナーと参加型の体験を組み合わせたプログラム

セミナー／介護の基礎知識と魅力（1回あたり20～30分×3回×2日間）

- 介護の3原則: 尊厳の保持、自立支援（できることをやってもらう）、自己決定の尊重。
- 仕事内容: 身体介護や生活援助だけでなく、コミュニケーションや社会活動支援、マネジメントなど。
- 介護のしごとの魅力: 日々変化があり、「ありがとう」と言ってもらえる仕事、チームケアの楽しさ。

体験／

① 介護・高齢者疑似と支援の体験

高齢者疑似体験: 関節サポーターや白内障グラス（ゴーグル）を着用し、老化による身体・視覚変化の体験とその支援の体験。

② 作業負担を軽減させるアシストスーツ体験など

授業で強調すべきポイント

本人の残存能力を活用する（自立支援）。

「コミュニケーションが介護の基本」: 対話を通じて、その人が望む生活を理解する。

「思いやりを技術で表現する」: 技術だけでなく、安心感を伝えるコミュニケーションを学ぶ。

**教員自身が介護のしごとの理解を深めることで、
学校における福祉学習の質の向上や、子どもたちへのキャリア教育にも繋がります。**

4. 教職員向けイベントの開催

「未来の先生フォーラム」先生向けのプログラム ※プログラムに参加した方には当日アンケートを実施します

セミナー

介護のしごとの知識、やりがい

- 介護のしごとの社会的意義ややりがい、地域社会でのつながりやキャリア教育をテーマ



体験

高齢者疑似体験と支援、アシストスーツ体験など

- 高齢者関節サポーターや白内障グラス（ゴーグル）を着用し、老化による身体・視覚変化の体験とその支援の体験。
- 作業負担を軽減させるアシストスーツ体験など



プログラムの参加者には「2040年のサバイバル -介護の未来編-」を先着順で配布



教員向けに効果的に発信します

時期	2026年11月上旬以降（予定）
形式	プログラムのタイアップ採録記事、新聞広告での掲載
採録	先生コネクト（1万PV想定） 全国版朝刊5段カラー



朝日新聞社の教員向けサイト

先生コネクト +



2万を超える会員数を誇る教員向けサイト「先生コネクト」を通じてプログラムを記事化し、先生を中心としたターゲットに向けて発信します。また、全国的にリーチ可能な新聞広告も活用します。

4. 教職員向けセミナーの開催



朝日新聞社の教員向けサイト

先生コネクト

先生たちの「やってみよう」を応援する、
教職員向け会員登録制ウェブサイトです。

未来の担い手を育てるために知恵を集めている学校はいま、働き方改革や学校DXなどさまざまな課題に直面しています。従来の学校運営や学級運営に加えて、一斉授業の見直しなど根本的な変革も迫られています。先生コネクトは記事やウェビナーを通じて、これらの課題を乗り越えた先行事例や専門家の知見、ノウハウを提供します。さらに、全国の先生自らが書く「先生投稿」や教育に関する話題を共有し、学校の枠を超えてつながるコミュニティを作り上げていきます。先生コネクトは、知識と経験を共有し、共に成長する場を提供します。



先生コネクト 会員情報

会員数

※2025年8月時点

約25,300名

小：中：高

10:6:7

学校管理職割合

約14%

現場の決裁関与者割合

(主任級以上・ICT担当)

約15%

主なコンテンツ

教職員のニーズに応える4種類のコンテンツ



イベント・ウェビナー

教員の役に立つ本社イベントや先生コネクトが開催するウェビナー情報を伝えます。



教育話題・投稿

授業づくりのヒントや実践事例、識者による寄稿・インタビューに加え、先生による投稿コンテンツも発信。



知る・調べる

教育用語や教育制度について、大学教授などの専門家が解説。教員の知りたいニーズに応えます。



未来の先生フォーラム

日本最大級の教育イベントの最新情報や登壇者インタビューを通じて、教員の学びを支援します。

広告メニュー

クライアントの課題に応じた企画提案が可能



オンラインセミナー

学校との接点開発・競合差別化

企業の商品・サービスを教員の関心テーマに掛け合わせてウェビナーの形式で発信。企画・構成～集客～配信～メディア採録までワンストップでご提供します。



PRコンテンツ

教職員への告知・共創機会

編集部監修で商品・サービスをPRコンテンツで配信。教員のインサイトに基づいた企画や、教員との共創企画の展開も可能です。



会員向けメールマガジン

教職員への告知

毎週土曜日に配信するメールマガジンにてイベント等の情報を発信。購読希望者(約10,000名)に絞ってお送りしており、高い開封率が期待できます(平均40%)。※単独メルマガの配信も調整中です。



未来の先生フォーラム

リード獲得

最新の教育動向への関心が高い教員に対してオンラインセミナーや、年1回の大型イベント、メルマガ等で情報を伝えることができます。

会員登録数：約25,300名 (25年8月時点)

具体的な手法

5. ミドル～プレシニア層向け大規模イベントを活用したセミナー開催

介護のしごとのキャリア形成に役立つセミナーの開催

ミドル～プレシニア層に対してキャリアチェンジのきっかけ作りとともに、その選択肢としての介護のしごとの魅力を伝える施策です。**人材定着を促すためには、資格取得や昇進といった長期的なキャリアアップ支援が、有効になる可能性があります。**「まずは体験・見学」といった機会がから、介護のしごととキャリアアップを具体的にイメージできるような内容にするため、職場密着取材に基づくセミナー企画を実施いたします。

ケアマネジャーや施設長の 仕事に密着



事前に登壇予定の社会福祉施設法人での施設長やケアマネジャーの仕事に密着。体験の様子を写真で撮影。

セミナー開催



密着取材の様子をご紹介しながらや介護経験のある著名人を交えたセミナーを開催。仕事密着の写真を使って、実際に仕事をするイメージを持ってもらう。仕事相談ブースへも誘導。

アーカイブ配信



セミナーの様子を後日アーカイブ配信（**5万回再生**）
新聞広告にて発信（**全国版5段カラー**）

■ セミナーテーマ

「もっと知ろう、介護のしごと
—長く活躍できるキャリアの作り方—」

■ 出演者

- ・介護事業者・実践者
(介護職発信事業の団体などと連携)
- ・介護職の経験がある著名人等
- ・MC兼ファシリテーター

■ 開催概要

【DAY1】2026年2月22日(日)10:00～18:00
【DAY2】2026年2月23日(月・祝)10:00～17:00

会場：東京国際フォーラム（東京・有楽町）

来場参加費：招待者は無料



来場予定者数：8,000名

主催：朝日新聞社協賛：複数社を想定

ブース出展社予定数：100社

⇒80～120名のセミナーステージをご提供します

WEBでの発信

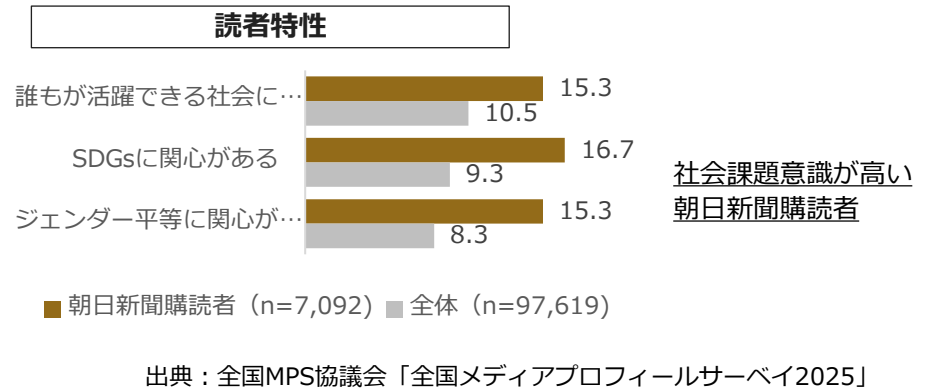
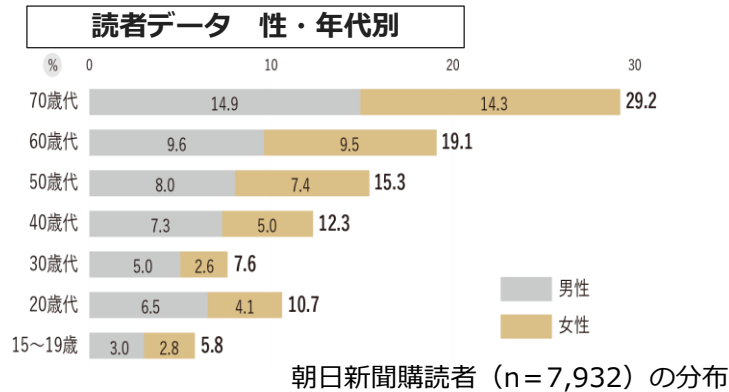
- **635万ID**を超える朝日ID会員の属性と、各種媒体・サービスを通じたWEB行動情報履歴など蓄積したA-TANKや、YouTube、LINEを活用します。
- 動画配信 **5万回** 再生以上 
- 40代～60代をターゲット 

具体的な手法

介護のしごとのキャリア形成に役立つセミナー 全国紙を使った発信

社会課題意識が高い読者に支持される「朝日新聞」で日本全国にアピール

- 信頼性の高いニュース媒体。ミドル～シニア層の接触率が高く、かつエンゲージメントが高い。
- マス特有の圧倒的なリーチ数で広範囲のターゲットをカバー「関心層」「検討層」だけでなく、「潜在層」「計画層」にも届く。
- 全国版の複数回掲載によるフリクエンシー効果で認知向上および集客が期待できます。



朝日新聞 データ

販売部数、想定リーチ数

掲載エリア	朝刊販売部数	想定リーチ人数
全国版	3,192,677	6,704,622
東京本社版	1,848,171	3,881,159
大阪本社版	864,183	1,814,784
西部本社版	250,522	526,096
名古屋本社版	172,069	361,345
北海道支社版	57,732	121,237

日本ABC協会「新聞発行社レポート 半期 2025年7月～12月平均」より

新聞での発信

- 掲載媒体：朝日新聞全国版朝刊
- サイズ：全5段カラー
- 掲載時期：2027年3月

あなたの経験を生かす働き方、考えておませんか？

新たなキャリアの選択肢—介護のしごと—

医療、福祉、介護を中心に「これからの働き方」や「世帯との関わり方」を考える中で、介護・福祉の仕事に関心を持つ人が増えていきます。「誰かの命・生活のために役立つ仕事」が求められ、自分も活躍の場を求めたいという思いで再びスタートを切る人もいます。そんな方々のために、介護の仕事の魅力が伝わるようにセミナーが開催されました。（朝日新聞掲載記事）

この仕事は体力が要り、年齢層も幅広いですが、未経験でも活躍の場があります。安定した収入と、社会貢献が感じられる仕事です。また、介護の仕事は、高齢化が進む中で、ますます需要が高まっています。自分自身のスキルを活かして、新しいキャリアを築いていくチャンスです。

介護の仕事は、高齢者の生活を支えるだけでなく、社会貢献が感じられる仕事です。また、介護の仕事は、高齢化が進む中で、ますます需要が高まっています。自分自身のスキルを活かして、新しいキャリアを築いていくチャンスです。

厚生労働省

具体的な手法

5. ミドル～プレシニア層向け大規模イベントを活用したセミナー開催

資格取得や昇進といった長期的なビジョンを示す内容を盛り込み、長く働ける仕事としての魅力を伝えていきます。

介護・福祉のしごとの経験がある、または現役の介護職の著名人



お笑いコンビ レギュラー

松本康太さんと西川晃啓さんは介護職員初任者研修修了、レクリエーション介護士1級を取得、介護とお笑いの融合に挑戦中。



安藤 なつさん

タレント活動と並行して夜間の訪問介護をしていた経験を持つ。3年前には介護福祉士の資格を取得。



北原 佐和子さん

女優として活躍の傍ら、介護福祉士、ケアマネジャー、准看護師資格を取得、福祉現場での豊富な経験を持つ。

MC・ファシリテーター候補



町 亞聖さん

元日本テレビにアナウンサー。医療問題や介護問題などを取材。ヤングケアラーとして母の介護も経験。



駒村 多恵さん

実母の介護を18年以上続けており、仕事をするかたわら介護福祉士や介護食士の資格を取得。



吉田 貴宏さん

社会福祉法人フラワー園施設長。同施設では定年が85歳で、様々な年齢の方が勤務。社会福祉HERO'S2023選出。



宗像 有美さん

株式会社お花畑代表。福島県熱海町で介護事業を運営。21年に母から事業を引き継ぐ。KAIGOPRIDEアンバサダー。



井口 健一郎さん

社会福祉法人小田原福祉会理事・特別養護老人ホーム潤生園施設長。教師から介護職へ転職し大学の非常勤講師も務める。24年、職場環境づくりが評価され内閣総理大臣・厚生労働大臣表彰を受賞。



山田 真由美さん

株式会社ソーシャルビューティーフォト代表。32歳で介護職員初任者研修過程。介護福祉士、美容師、介護支援専門員など。

以下、各分野から1名程度出演します。

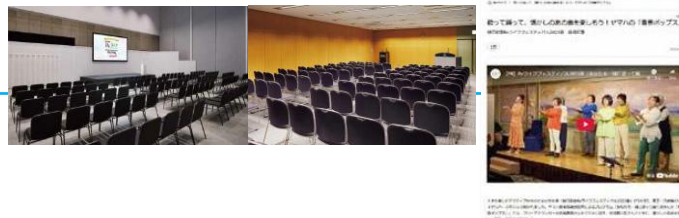
5. ミドル～プレシニア層向け大規模イベントを活用したセミナー開催

セミナー構成案 「もっと知ろう、介護のしごと 一長く活躍できるキャリアの作り方」 (仮)

■定員80～120名のセミナーステージにてプログラムを実施します。

テーマ①

介護・福祉の仕事の社会的意義 (エッセンシャルワーク)
介護職が持つ専門性や魅力 (利用者との関係・地域社会への貢献)



テーマ②

ミドル～プレシニア層の活躍の実際

- 業務内容、通常の1日の流れ (勤務形態、勤務時間帯、休日の取得状況)
- 転職したきっかけ、今の就職先を選んだ理由
- 他業種からの転職者として感じる介護の仕事の魅力
- 多様な仕事、具体例
- 仕事のやりがいや喜び
- マネジメントの立場から、研修や支援の具体例

POINT

「介護職員初任者研修」や「介護福祉士実務者研修」などの未経験でも挑戦できる研修制度の充実など

テーマ③

キャリアアップと成長機会

- 転職後のキャリアアップ
- 介護職の長期的なキャリアビジョン・中途採用者の現状と活躍例
- 経営側としての支援、費用のサポートなど
- 採用ルートとキャリアデザイン
- 入職相談の具体的な案内 (福祉人材センターなど)
- 今後の地域共生社会の実現とミドル～プレシニア層の役割と期待

POINT

「ケアマネジャー」「サービス提供責任者」などの研修で専門職としてスキルアップすることも

POINT

具体的な相談窓口 (福祉人材センター) の紹介など、アクションに繋がる内容に

5. ミドル～プレシニア層向け大規模イベントを活用したセミナー開催

リーフレットのリニューアルとイベント配布+自治体での活用

- 令和4年度の本事業で作成した40歳からの「LIFE SHIFT」リーフレットをリニューアルします。新たにキャリア形成の要素を加え、ロールモデルをご紹介します。
- リーフレットはミドル・プレシニア層向けイベント（Reライフフェスティバル）での配布や、自治体で活用いただけるようダウンロード可能なデータ形式でポータルサイトに格納します。
- ロールモデルの2名は**介護職発信事業の採択団体等と連携**します。

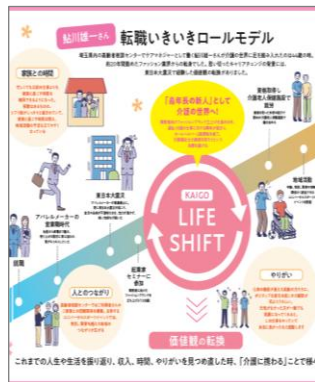
リーフレット

- **体裁**：A4カラー/4ページ
※ロールモデル事例（2名予定）をリニューアル
- **印刷数**：1万部
- **用紙**：ロール紙 90kg
- **配布**：Reライフフェスティバル来場者（約8,000名）
- ポータルサイトに格納し、自治体活用に役立てます。

チャート図など



ロールモデル2名のご紹介



表紙



**自治体用バージョン
(連絡先記載スペース有)**

パスをのぞいてみませんか?

連絡先の記載など自由にご利用ください

ポータルサイトに格納し、自治体がダウンロードして使用可能にします。
自治体用には、PPTデータもご用意し、問い合わせ先を記載するスペースを設けます。

※上記はイメージです。内容詳細は貴省と協議の上、進めて参ります。

6. ポータルサイトの改修（教員向けタブを追加）

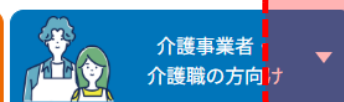
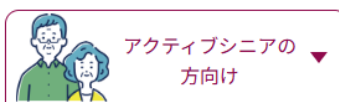
- 既存のポータルサイトでは、現状のターゲット加えて**教員向けのタブ**を新設します。これまでの事業で作成したコンテンツや、学生の将来的な職業選択の後押しとなるような情報発信を強化します。

実施概要（イメージ）

事業ポータルサイト 「これからのKAIGO」



こちらに
「教員向け」
タブを追加



【オンデマンド配信】次世代に伝えたい介護・福祉の大切さと魅力



おしごととはくふつかん 「かいご」のおしごと



【採録&アーカイブ】生徒に伝えたい介護のしごとリアルを知りキャリア教育に生かす

これまでの事業で作成した教員向けコンテンツも新設タブ内に格納

6. ポータルサイトの改修／利活用

- イベント等で介護の仕事を知った方が実際に介護職を目指すまでには、繰り返し情報に触れて、理解を深めるという過程があります。「もっと知りたい」という気持ちに応えるための受け皿として、ポータルサイトを整備。
- 既存の事業ポータルサイト「これからのKAIGO」を活用しながら、各種制作したコンテンツを格納し発信しています。
- 前年度同様、本事業の他採択者ともコンテンツ連携を行い発信も強化しています。



3.

事業間連携



他の採択団体・介護職発信事業者との連携強化

- 情報発信事業として、他の採択団体や介護職発信事業者とより連携を深めていきます。

イベント出演

出張授業講師

コンテンツ発信

媒体配布

審査員

これからのKAIGO



他採択団体の取り組み発信やイベント出演



当社事業ポータルサイト、媒体での発信やイベント等を通じて連携強化します

具体的な手法

事業規模

イベントほか

■ こども層&保護者・教職員向け 小中高生向け出張授業



■ 教職員向け プラットフォーム活用と未来の先生フォーラム



■ ミドル層～プレシニア層向け 大型イベントを活用したセミナー



新聞

朝日小学生新聞 朝日中高生新聞



朝日新聞



サバイバルを活用した教材

■ 小学生・教職員向け 冊子活用



科学漫画 サバイバル



YouTube動画タイアップ

■ 中高生・保護者向け YouTube動画



・出張授業
 想定参加数 (生徒+教員)
 約1,200人
 ・教員向けイベント
 約2,800人
 ・ミドル～プレシニア層向けイベント
 約8,000人

動画視聴数
 ミドル層向け 5万回

朝日新聞全国版
 朝刊 2回
 13,409,243人
 ※閲読数

朝日小学生新聞
 ・105,284部
 朝日中高生新聞
 ・47,962部

最大1万部配布

・動画10万回再生
 ・SNS 9万リーチ

延べリーチ 約 **1,390万**

5.

スケジュール



スケジュール

採択決定後すみやかに事業を始動します。教育現場、関係団体との各種調整をはじめ、11月11日「介護の日」や福祉介護人材確保重点実施期間を中心に3月まで切れ目なく魅力発信を行います。

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
企画委員会など		企画委員会						企画委員会					企画委員会
こども層&ミドル層 (保護者・教員)	1. 小中高生向けの出張授業	事務局設置	募集開始	学校との調整		全国10校で開催			採録紙面掲載				
	2. サバイバル冊子の活用	増刷	希望する自治体などへの配布		出張授業落選校への配布								
	3. 「ブカピ」YouTube×SNSを活用した動画拡散			事前取材		編集			★技能五輪全国大会 動画YouTube配信		効果検証		
教職員	4. 教職員向けイベント	講師・協力者調整		プログラム案作成		★開催		採録記事掲載					
レシニア層	5. ミドル～プレシニア層向けセミナー							出演者調整	★事前取材 台本制作等		★開催 採録記事・配信開始		
6. ポータルサイトの利活用		各施策のポータルサイト格納および他事業とのコンテンツ連携											